

第2学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 たし算とひき算のひっさん(1)(全体時間9時間)

コンテンツ名 「たしざんのきまり」 (S03.mpeg)

第2学年 実施時期 1学期6月

単元目標

【関心・意欲・態度】 ・筆算のよさに気づき、活用しようとする。また、答えの見当をつけてから計算しようとする。

【数学的な考え方】 ・十進法取り記数法の仕組みをもとにして、(2位数) + (2位数)、(2位数) - (2位数)の筆算の仕方を考えることができる。

【表現・処理】 ・(2位数) + (2位数)、(2位数) - (2位数)の筆算を、1の位から順に、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて計算できる。

【知識・理解】 ・筆算の仕方を知り、(2位数) + (2位数)、(2位数) - (2位数)の計算の仕方を説明することができる。

本時の目標と展開(全9時間 本時はその3時間目)

- 1, (2位数) + (2位数)で繰り上がりのない筆算ができる。
- 2, (2位数) + (2位数)で、1の位に繰り上がりのある筆算ができる。
- 3, たし算について、交換法則が成り立つことに気づき、これを用いて答えを確かめようとする。(本時)
- 4, (2位数) + (2位数)で、1の位に繰り上がりのある筆算が確実にできる。
- 5, (2位数) - (2位数)で、繰り下がりのない筆算ができる。
- 6, (2位数) - (2位数)で繰り下がりのある筆算ができる。
- 7, ひき算の答えの確かめを理解し、答えの確かめができる。
- 8, (2位数) - (2位数)で繰り下がりのある筆算が確実にできる。
- 9, (おさらい)

学 習 活 動

(1) 題意を知る。

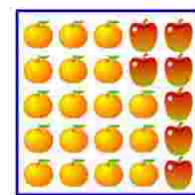
問題 みかんが18個、りんごが7個あります。果物は全部で何個でしょう

T「わかっていることは何でしょう。」

S「りんごが7個、みかんが18個あります。」

T「聞かれていることは何でしょう。」

S「果物は全部で何個でしょう。」



$$18 + 7 = 25$$

・課題からわかること・求めることを確認させ、確実に問題を把握できるようにする。

(2) 式を考える。

T「どんな計算で求められるでしょう。式と答えを考えましょう。」

S「 $18+7=25$ 答え25個です。」

S「 $7+18=25$ 答え25個です。」

T「 $18+7$ と $7+18$ はどちらが正しいのでしょうか。」

T「デジタルコンテンツを見てみよう。」

$18+7$ (音なし 12秒)

$7+18$ (音なし 22秒)

T「線分図(テープ図)を書いて考えよう。」

T「 $18+7$ と $7+18$ をみて、どんなことがわかるかな。」

S「どちらも25になる。」

S「答えが同じになる。」

T「たし算では、たされる数とたす数を入れかえても答えは同じになるね。」

T「たし算の答えの確かめに使うことができるね。」

- デジタルコンテンツ(前半)(後半)をみて $18+7$ と $7+18$ の式の意味について考えさせる。
- たし算の筆算をして $18+7=7+18$ となることに気付かせる。

(3) 練習問題を解く

(4) 加法の交換法則についてまとめる。

T「画面を見て、 $18+7$ と $7+18$ は同じ答えになることをたしかめよう。」

- デジタルコンテンツの画面を見るだけでなく、筆算と比較しながら $18+7=7+18$ になることを理解し、答えのたしかめをさせるようにする。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

たしざんのきまり http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#03